

「子育て応援支援金」を贈呈しました



▲お子さんの健やかな成長を応援します

橋本正信さん、裕美子さんご夫妻に悠樹(ゆずき)さんが誕生したことを祝い、1月27日、小関町長から「子育て応援支援金」が贈呈されました。子育て応援支援金は、七ヶ宿町での子育てを応援することを目的に、お子さんの出生時・小学校入学時・中学校入学時・高校入学時に支給されます。

峠田にお住まいの橋本さんご家族。七ヶ宿町でのびやかに子育てをしていただきたいと思います。

白石地区交通安全協会が表彰されました



▲優良交通安全協会として表彰されました

白石地区交通安全協会が、全日本交通安全協会会長表彰を受賞しました。受賞は宮城県からただ1地区で、28年ぶり2回目となりました。1月30日には、白石地区交通安全協会長の遠藤会長と、大鷹沢支部長、七ヶ宿支部の今野三喜男支部長、が役場を訪れ、小関町長に受賞したことを報告しました。この度の受賞は、皆様が日頃、交通安全活動に尽力いただいたことによる賜です。引き続き、安全運転の心がけをお願いいたします。

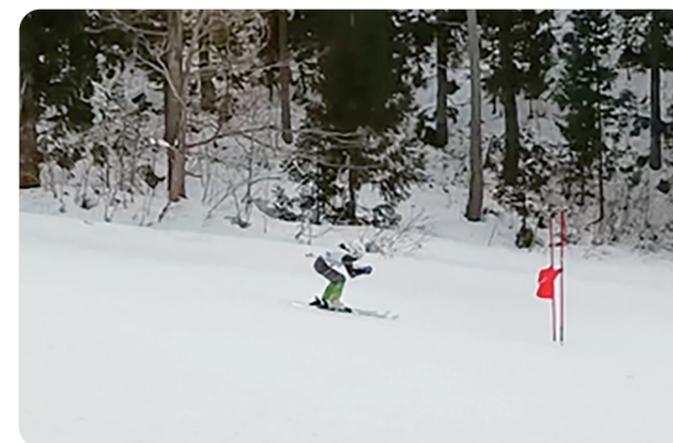
保育所豆まき会



▲すみれ組が鬼の役をつとめました

2月3日、関保育所で毎年恒例の豆まき会を行いました。子供たちは事前に製作した升に花紙を丸めて作った豆を入れ、「鬼は外、福は内」の掛け声とともにお手製の鬼のお面を被ったすみれ組に豆をぶつけ退治しました。その後、突然赤鬼が現れ、泣き出す子もいましたが、すみれ組の子供たちが、勇敢に豆を投げつけ見事に退治し、楽しい豆まき会になりました。

第41回七ヶ宿町GS大会



▲競技中の様子

2月7日(土)七ヶ宿スキー場を会場に第41回七ヶ宿ジャイアントスラローム大会が開催されました。大会には、町外の方を中心に、小学生の部からマスターズの部まで、幅広い年代の方々が参加し、冬の練習の成果を発揮していました。当日は天候に恵まれ、硬いバーンではありましたが、選手達は物ともせず力強い滑走を見せていました。

救急車が新しくなりました



▲10年ぶりに新しくなりました

2月9日、白石消防署七ヶ宿出張所に新しい救急車が納車され2月16日から運用が始まりました。新しい救急車の特徴として、磁気ダンパーにより傷病者が乗るストレッチャーの揺れを以前より抑える架台を装備し、より安定した状態で傷病者を搬送することが可能になったことや、各種救命処置をするための高度救命資器材を備えており、救急車内でより適切な処置を受けることができるようになりました。

わらじ作り講習会が開催されました



▲丁寧に作っていました

2月10日、シルバー人材センターにてわらじ作り講習会が開催されました。この講習会は作り手の少なくなったわらじを後世に残すため、わらじの作り方を学ぶ講習会で、6名の方が参加しました。当日は、シルバー人材センターの講師3名がわらじの作り方を指導し、参加した方々は、講師の手ほどきを受けながら、集中した様子でわらじを作っていました。